



【これをみていると、ウィンドーを叩き、物乞いをするマニラの子供たちの黒い瞳を思い出す】

仏さまに供える「ポンマライ」と呼ばれる花飾りを売る人。

信号停止の間、車から車に渡り歩き、ウィンドー越しに花を掲げる。

車が動き出す気配で、さっと身を引いて歩道に移る。

排気ガスを吸わないように顔面までの覆い、直射日光を避けるために手袋まで。

危険なうえに劣悪な環境。

こうして、いくら稼ぎになるのだろう。

でも、決して媚びないところがいい。

仏さまの為に、こうして売っているのだ、と。

ジャスミンの白い蕾みから香ばしい匂いが漂ってくるようだ。